

## EPrints の日本語化

## 1 . Eprints の外見上の日本語化

ここでは、Eprints アーカイブの画面表示の日本語化について扱います。

(1) EPRINTS/archives/test01/cfg/static/に/ja を作成し、/en 以下にあるファイル contact.xpage、error401.xpage、index.xpage、information.xpage、vlit.xpage、help/index.xpage をここにコピーします。その後、これらを必要に応じて日本語化します。

\* (6)で generate\_static コマンドを実行すると、これらのファイルが日本語版の index.html などに変換されて、EPRINTS/archives/test01/html/ja/に格納されます。

\* 「EPRINTS」という表記は、EPrints がインストールされているディレクトリを指します。以下、同じです。

\* 「test01」は、東京大学で作成したアーカイブ名です。各大学によって異なります。

その際、index.xpage の

```
<?xml version="1.0" encoding="iso-8859-1" standalone="no" ?>
<!DOCTYPE page SYSTEM "entities-en.dtd" >
```

を下記のように修正します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no" ?>
<!DOCTYPE page SYSTEM "entities-ja.dtd" >
```

また、その他 5 ファイルの

```
<!DOCTYPE page SYSTEM "entities-en.dtd" >
```

を下記のように修正します。

```
<!DOCTYPE page SYSTEM "entities-ja.dtd" >
```

(2) EPRINTS/archives/test01/cfg/の citations-en.xml と phrases-en.xml、template-en.xml をコピーして日本語化し、citations-ja.xml と phrases-ja.xml、template-ja.xml を作成します ( citations-en.xml は日本語化する場所はない? )。

その際、phrases-ja.xml の

```
<?xml version="1.0" encoding="iso-8859-1" standalone="no" ?>
<!DOCTYPE page SYSTEM "entities-en.dtd" >
```

を下記のように修正します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no" ?>
<!DOCTYPE page SYSTEM "entities-ja.dtd" >
```

また、citations-ja.xml の

```
<!DOCTYPE page SYSTEM "entities-en.dtd" >
```

を下記のように修正します。

```
<!DOCTYPE page SYSTEM "entities-ja.dtd" >
```

(3) EPRINTS/cfg/の system-phrases-en.xml をコピーして、system-phrases-ja.xml を作成し、日本語化します。

なお、以下の部分

```
<?xml version="1.0" encoding="iso-8859-1" standalone="no" ?>
<!DOCTYPE page SYSTEM "entities-en.dtd" >
```

を下記のように修正します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no" ?>
<!DOCTYPE page SYSTEM "entities-ja.dtd" >
```

(4) (3)と同じ EPRINTS/cfg/にある languages.xml の

```
# <lang id="ja" supported="no">Japanese</lang>
```

のコメントアウト( # )をはずし、"yes"としてください。

```
<lang id="ja" supported="yes">Japanese</lang>
```

(5) EPRINTS/archives にある test01.xml (アーカイブ名.xml) のうち、

```
<language >en</language>
<archivename language="en">eprints</archivename>
```

```
<defaultlanguage >en</defaultlanguage>
```

を次のように追加・修正します。

```
<language >en</language>  
<language >ja</language>  
<archivename language="en">test01</archivename>  
<archivename language="ja">test01</archivename>      日本語用の名前を設定  
<defaultlanguage >ja</defaultlanguage>
```

(6) EPRINTS で bin/generate\_static を実行し、静的 Web ページを生成しなおします。終了後、root ユーザーで、Apache を再起動します。

```
# /etc/rc.d/init.d/httpd stop  
# /etc/rc.d/init.d/httpd start
```

(7) その他

(a) これらを実施する前に、configure\_archive 中の language=["en"] を language=["en","ja"] としておくと、日本語環境が若干整う。

(b) /etc/httpd/conf/の httpd.conf の 317 行目

```
PerlTransHandler EPrints::Rewrite
```

の下をコピーして、/en/を/ja/に変更する。

## 2 . EPrints の内部の日本語化

EPrints アーカイブで扱う文字コードは UTF-8 ですが、アーカイブにデータを登録する際、Perl の Unicode 処理の関係で、デフォルトの状態では日本語のデータを登録することができません(登録はできますが、登録の段階で不正なコードに変換され、文字化けしてしまいます)。そこで、×× から eprints-jp.patch をダウンロードして、下記の要領でパッチを当ててください。

- (1) ダウンロードしたファイルを EPRINTS/perl\_lib/EPrints ディレクトリにコピーします。
- (2) 次のとおり入力して、実行します。

```
# patch -p0 < eprints-jp.patch
```

\* 変更されるファイルは、EPRINTS/perl\_lib/EPrints/ ディレクトリにある Database.pm、SearchCondition.pm、Session.pm、XML.pm の 4 つと、EPRINTS/perl\_lib/EPrints/MetaField/

ディレクトリにある Name.pm の合計 5 つです。

(3) パッチを当てたことによる不具合(らしきもの)に対処するため、Session.pm のサブルーチン sub send\_page に、下記の下線部分を付け加えます。

```
sub send_page
{
    my( $self, %httpopts ) = @_ ;
    $self->send_http_header( %httpopts );
    print <<END;
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
END
utf8::encode( $self->{page} );
    print EPrints::XML::to_string( $self->{page} );
    EPrints::XML::dispose( $self->{page} );
    delete $self->{page};
}
```